

(様式 1)

受付番号 ※記載不要	
---------------	--

経済産業省 あて

令和 5 年度脱炭素成長型経済構造移行債に係る第三者評価事業（GX 経済移行債に係る第三者評価の取得）申請書

申請者	企業・団体名	
	代表者役職・氏名	
	所在地	
連絡担当窓口	氏名（ふりがな）	
	所属（部署名）	
	役職	
	電話番号 （代表・直通）	
	E－m a i l	

(様式2)

受付番号
※記載不要

令和5年度脱炭素成長型経済構造移行債に係る第三者評価事業（GX経済移行債に係る第三者評価の取得）企画提案書

1. 事業の実施方法
* 募集要領の2. 事業内容の項目ごとに、具体的な実施方法及び内容を記載してください。 * 本事業の成果を高めるための具体的な提案を記載してください。
2. 実施スケジュール（1. の実施が月別に分かること）
3. 事業実績
類似事業の実績 ・ 事業名、事業概要、実施年度、発注者等（自主事業の場合はその旨）
4. 実施体制
* 各業務従事者の氏名、所属、役職、業務経験、その他略歴（学歴、職歴、研修実績その他経歴、専門的知識その他の知見、母語及び外国語能力、国籍等のいずれかから原課で任意に設定） * 下請負を行う場合は、下請負先の名称、業務内容及び業務範囲を明記すること（事業全体の企画及び立案並びに根幹に関わる執行管理について、下請負をすることはできない）。 * 事業費総額に対する下請負費の割合が50%を超える場合は、相当な理由がわかる内容（別添「下請負費率が50%を超える理由書」を作成し提出すること）。 ※グループ企業との取引であることのみを選定理由とする下請負（孫請負及びそれ以下の請負を含む）は認めない。
5. 情報管理体制
* 情報管理に対する社内規則等（社内規則がない場合は代わりとなるもの。） * その他原課において必要と判断する書類等 * 受注者の情報管理体制がわかる「情報管理体制図」、情報を取扱う者の氏名、住所、生年月日、所属部署、役職等がわかる「情報取扱者名簿」を契約時に提出することを確約すること。（様式3にて提示）
6. ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況
* 女性活躍推進法に基づく認定（えるぼし認定企業・プラチナえるぼし認定企業。労働時間等の働き方に係る基準は満たすことが必要。）、次世代育成支援対策推進法に基づく認定（くるみん認定企業・トライくるみん認定企業・プラチナくるみん認定企業）又は青少年の雇用の促進等に関する法律に基づく認定（ユースエール認定企業）の状況 * 女性活躍推進法第8条に基づく一般事業主行動計画（計画期間が満了していないものに限る。）の策定状況（常時雇用する労働者の数が100人以下の事業主に限る。）
7. 事業費総額（千円）※記載している費目は例示。募集要領9.（1）経費の区分に応じ

て必要経費を記載すること。	
I	人件費
II	事業費 ①旅費 ②会場費 ③謝金 ④補助職員人件費
III	下請負・外注費
IV	一般管理費
	小計
IV	消費税及び地方消費税
総額	千円（※総額は予定額上限内に収めて下さい。）

下請負費率が50%を超える理由書

住 所
名 称
代 表 者 氏 名

1. 件名

令和5年度脱炭素成長型経済構造移行債に係る第三者評価事業（GX経済移行債に係る第三者評価の取得）

2. 本事業における下請負を有する事業類型

※「10. その他（2）に記載のある事業類型「Ⅰ」「Ⅱ」「Ⅲ」のいずれかを記載してください。

※また、特段の定めがない場合は、「一」を記載してください。

3. 本事業における主要な業務（事業全体の企画及び立案並びに根幹に関わる執行管理）の内容

※「2. 本事業における下請負を有する事業類型」に対して、提案内容が合致する理由も含めてご記入ください。

「一」を選択した場合は、事業類型に合致する理由の記載は不要です。

<記載例>

本事業における主要な業務は、・・・であり、その他関連業務として・・・を実施する上で、事業類型（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）が示すように、（落札者）と委託、外注先の業務体系が（事業類型Ⅰ～Ⅲの内容）のような関係となる。

4. 下請負費率

※下請負（契約書上の下請負：第7条1項（消費税込み））÷総額（消費税込み）×100により算出した率。

●●. ●%

5. 下請負先（孫請負先及びそれ以下の請負先を含む）及び契約金額等

下請負名	精 算 の 有 無	契 約 金 額（見 込 み）（円）	比 率	再 委 託 先 の 選 定 方 法 又 は 理 由※	業 務 の 内 容 及 び 範 囲
【例】未定 [下請負先]	無	10,000,000	20.0%	相見積もり	・・・等の各種データ収集・提供
【例】○○ （株） [下請負先]	有	20,000,000	40.0%	一者選定 理由：○○ （株）につ いては、・・・を 実施出来る 唯一の事業 者であるた め等。	コールセンター
【例】△△ （株） [孫請負先]	無	2,000,000	—	○○	・・・
【例】□□ （株） [孫請負先]	無	3,000,000	—	○○	・・・

※グループ企業との取引であることのみを選定理由とすることは認められません。

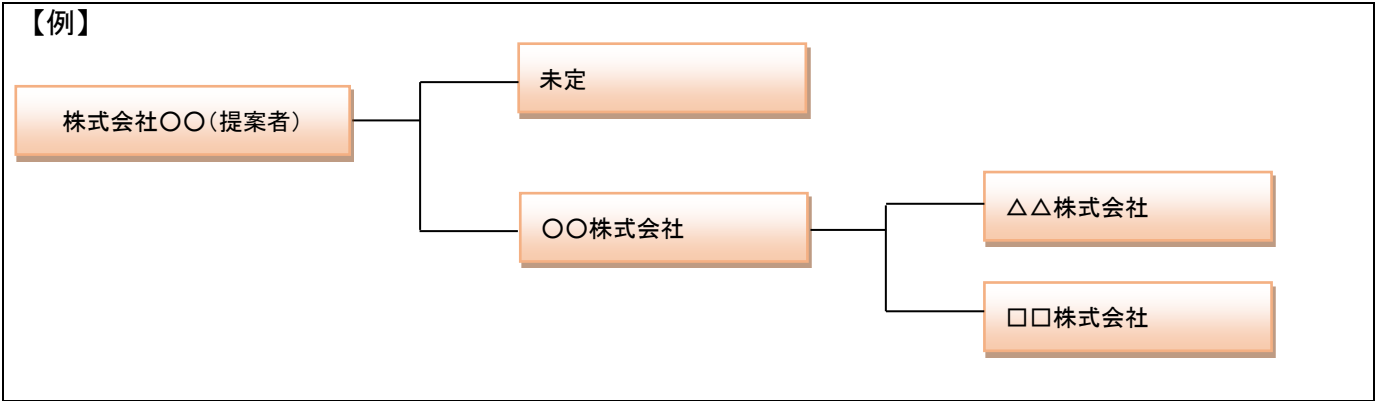
※金額は消費税を含む金額とする。

※下請負先、孫請負先及びそれ以下の請負先の契約金額を含めた情報を記載すること。

※比率は、事業費総額に対する下請負の割合（孫請負先及びそれ以下の請負先は記入不要）

※一者選定の場合は、当該事業者でなければ事業を実施出来ない理由を記載すること。

6. 履行体制図



7. 下請負（孫請負及びそれ以下の請負を含む）が必要である理由及び選定理由

＜記載例＞

〇〇調査事業の性格上、・・・・・・の要素が、事業実施の上では必要不可欠であり、下請負・外注をせざるを得ない。その上、以下のような事業者へそれぞれ必要な内容の下請負・外注をする。また、（2. 記載の内容のとおり）については、同社で実施することで事業における主要な業務は、下請負・外注していない。

●●（株）：・・・・分野における各種データ収集・分析については、●●（株）の有する・・・・を活用して実施することが必要不可欠であるため、●●（株）に下請負する。

〇〇（株）：

△△（株）：

■（株）：

▲▲（株）：

(様式3)

情報取扱者名簿及び情報管理体制図

(様式3)

情報取扱者名簿及び情報管理体制図

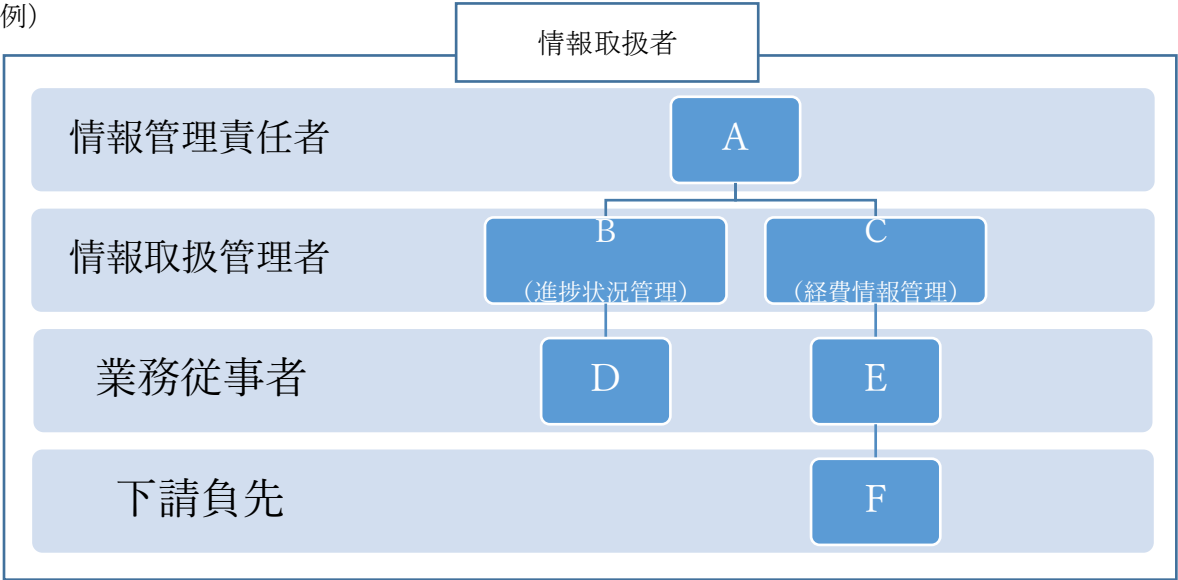
①情報取扱者名簿

		氏名	個人住所	生年月日	所属部署	役職	パスポート 番号及び国 籍 (※4)
情報管理責任者 (※1)	A						
情報取扱管理者 (※2)	B						
	C						
業務従事者 (※3)	D						
	E						
下請負先	F						

- (※1) 請負事業者としての情報取扱の全ての責任を有する者。必ず明記すること。
- (※2) 本事業の遂行にあたって主に保護すべき情報を取り扱う者ではないが、本事業の進捗状況などの管理を行うもので、保護すべき情報を取り扱う可能性のある者。
- (※3) 本事業の遂行にあたって保護すべき情報を取り扱う可能性のある者。
- (※4) 日本国籍を有する者及び法務大臣から永住の許可を受けた者（入管特例法の「特別永住者」を除く。）以外の者は、パスポート番号等及び国籍を記載。
- (※5) 住所、生年月日については、必ずしも契約前に提出することを要しないが、その場合であっても担当課室から求められた場合は速やかに提出すること。

②情報管理体制図

(例)



【情報管理体制図に記載すべき事項】

- ・ 本事業の遂行にあたって保護すべき情報を取り扱う全ての者。（下請負先も含む。）
- ・ 本事業の遂行のため最低限必要な範囲で情報取扱者を設定し記載すること。